

三重交通 路線バス・高速バス・観光バスに

ドライバー異常時対応システム(EDSS)搭載の新型バス導入

三重交通株式会社(取締役社長:竹谷 賢一、本社:津市中央1番1号)は、当社として初めて「ドライバー異常時対応システム(EDSS:Emergency Driving Stop System)」を搭載した新型バスを本年9月から順次、導入(本年度導入台数 計21台予定)しておりますのでお知らせいたします。

なお、令和2年度(2020.4~)以降もEDSS搭載車両(大型・中型バス)を計画的に導入していきます。今後も、安全・安心で快適なバスを安定してご提供できるよう努めてまいります。

詳細については下記のとおりです。

記

1. ドライバー異常時対応システム(EDSS)とは

運転中の運転者の健康状態が急変し運転の継続が困難になった場合に、緊急措置として運転者自身もしくは乗客が車内にある非常ブレーキスイッチを押すと、自動的に制動を開始し徐々に速度を落としてバスを緊急に停止させるシステム。またEDSS作動時のバス車内では、非常ブザーが鳴り赤色のフラッシャーランプで異常を知らせ緊急に停止することを乗客に伝達し、バス周辺の他の車両や歩行者に対しては、警笛やストップランプとハザードランプの点滅で異常を知らせます。

2. 本年度導入台数(予定) 計21台

内訳

- 観光バス(5台)
- 路線バス(10台)
- 高速バス(6台)

3. 非常ブレーキスイッチ位置 (路線バス)



※拡大



(観光バス・高速バス)



※客席(左右の最前列上部)に設置



※拡大

《お問い合わせ先》 三重交通株式会社 運転保安部 TEL:059 (229) 5537

